



# *EeeKeyboard PC*

easy to learn, work and play



## EK1542

## ユーザーマニュアル

15G067537050



J5819

初版 第1刷  
2010年8月

**Copyright © 2010 ASUSTeK Computer Inc. All Rights Reserved.**

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS) の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

以下の場合、保証やサービスを受けることができません。

- (1) ASUSが明記した方法以外で、修理、改造、交換した場合。
- (2) 製品のシリアル番号が読むことができない状態である場合。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証もいたしません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害（利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データの損失、業務の中断などを含む）に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、予告なしに内容は変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容について、ASUSは責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

## もくじ

本マニュアルについて .....	v
本マニュアルの表記について .....	v
安全上のご注意 .....	vi
運搬時の注意 .....	vii
航空機内での使用について .....	vii
EK1542 仕様一覧 .....	ix
パッケージの内容* .....	x

## Chapter 1 お使いになる前に

各部の名称と説明 .....	1-1
基本的な機能 .....	1-1
その他の便利な機能 .....	1-2
UWB機能 .....	1-4
EeeKeyboard PCの準備 .....	1-5
バッテリーをON/OFFにする .....	1-5
バッテリーを充電する .....	1-6
EeeKeyboard PCをONにする .....	1-7
初めて使用する際は .....	1-7
EeeKeyboard PCをOFFにする .....	1-8
休止状態にする .....	1-8
EeeKeyboard PCをシャットダウンする .....	1-8
EeeKeyboard PCを強制終了する .....	1-8
UWB接続をセットアップする .....	1-9
デバイスを接続する .....	1-11
外部ディスプレイを接続する .....	1-12
外部ディスプレイを2台接続する .....	1-13

## Chapter 2 EeeKeyboard PCを使用する

Easy Mode 画面 .....	2-1
タッチパネルを使用する .....	2-4
タッチパッドモード画面 .....	2-4
タッチ操作 .....	2-6
キーパッドを使用する .....	2-8
Function キー .....	2-8
特殊キー .....	2-10
キーパッドのオーバーレイ機能 .....	2-11
BIOS更新 .....	2-12
システムリカバリー .....	2-13

## Chapter 3 接続設定

インターネットに接続する .....	3-1
有線接続 .....	3-1
無線ネットワークに接続する .....	3-2
ASUS Eee Net .....	3-4
ASUS Eee Netを起動する .....	3-4
グループの作成 .....	3-5
グループに参加する .....	3-5
Bluetooth® .....	3-6
Bluetooth 環境の基本設定 .....	3-6
Bluetooth デバイスを追加する .....	3-7

## 付録

ご注意 .....	A-1
ASUSコンタクトインフォメーション .....	A-7
責任制限 .....	A-8



## 本マニュアルについて

本書は、EeeKeyboardのユーザーマニュアルです。本書では本機の構成部品の説明やその使い方について説明します。本書は以下のChapterから構成されています。

1. **お使いになる前に**  
本機をお使いになるときに必要な情報です。
2. **EeeKeyboardを使用する**  
本機の名ユーティリティの使い方です。
3. **接続設定**  
インターネット及びBluetoothの接続の仕方です。
4. **付録**  
安全上の注意について記載しています。



お買い求めのEeeKeyboardに付属しているアプリケーションは、モデルと地域によって異なります。また、本書記載の画面/写真の内容は参照用で、お買い求めのEeeKeyboardのアプリケーションの内容と異なる場合があります。ご了承ください。

## 本マニュアルの表記について

注意事項等は重要性によって以下のように区別されています。



**警告:**安全にお使いいただくために、必ず従わなければならない重要な情報です。



**重要:**本体の破損、データの消失および人体への障害を防止するために必ず行わなければならない事項です。



**ヒント:**作業の参考になるヒントです。



**注:**作業を完了するために必要な追加情報です。

## 安全上のご注意



本機のお手入れの際は、電源を切りAC電源アダプターと周辺機器を取り外してください。清潔なスポンジまたは柔らかい布に研磨材の含まれていない洗剤を温水で薄めたものを数滴含ませ、汚れを拭き取ってください。最後に乾いた布を使って余分な水分を完全に取り除いてください。



**禁止：**平らでない、不安定な場所に置かないでください。筐体を破損した場合には、弊社コールセンターにご連絡ください。



**周囲温度：**本機は5°～35°の周囲温度でご使用ください。



**禁止：**ホコリや汚れの多い環境下に置かないでください。ガス漏れの恐れがある場所で使用しないでください。



**禁止：**上に物を置いたり落としたりしないでください。内部に異物が入らないようにしてください。



**禁止：**本機の表面を傷つける、または本機内部に入る恐れのある小さい物の近くで本機を使用しないでください。



**禁止：**電源がONの状態では本機を持ち運んだり、キャリーバッグに入れたり、カバーをしたりしないでください。通気が悪くなり故障の原因となります。



**禁止：**本機の使用中は、底面が熱くなります。ひざの上など人体に長時間接触させて使用すると火傷を負う恐れがあります。



**禁止：**強い磁気を近づけないでください。



**禁止：**本機を一般ゴミとして廃棄しないでください。廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。



**禁止：**液体・雨・湿気を避けてください。



## 運搬時の注意

本機を持ち運ぶ場合は、次の指示に従ってください。

- 本機の電源をOFFにし、各コネクターの故障を防ぐため、周辺機器を全て取り外します。
- 傷や汚れ、水分や衝撃などから守るため、本機をキャリーケース等に入れます。
- バッテリースイッチがOFFになっていることを確認してください。詳細はページ 1-5「**バッテリーをON/OFFにする**」をご参照ください。

## 航空機内での使用について

航空機内での本機の使用については、各航空会社にお問い合わせください。多くの航空会社では、電子機器の使用に対して規定を設けています。一般的に離着陸時の電子機器の使用は禁止されています。



空港のセキュリティ装置には 3 つのタイプがあります。X線装置（荷物用）、磁気センサー（セキュリティゲートを通過する人間用）、および磁気ワンド（人間や小物用の短い棒）です。本機やハードディスクをX線装置に通すことは問題ありません。ただし、磁気センサーや磁気ワンドは避けください。



## 電気・電子機器に含有される化学物質の表示について

資源有効利用促進法では、JISC0950:2008 (J-Moss) の定める規格により、製造元に対し特定の電気・電子機器に含まれる化学物質の情報提供を義務付けています。J-Mossとは、電気・電子機器に含有される化学物質の表示に関するJIS規格の略称で、正式名称は「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content (電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)」です。なお、この規格は2008年8月1日より適用されています。

この規格に関する詳細情報はASUSのサイト (<http://green.asus.com/english/>) に記載の「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content (電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)」をご参照ください。



## EK1542 仕様一覧


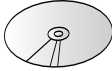



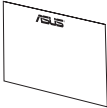





ディスプレイ	5インチ、480×800タッチパネル
OSサポート	Windows® XP Home edition
CPU	Intel® Atom N270
チップセット	945GSE / ICH7-M
メモリー	オンボードDDR2 メモリー 1GB
記憶装置	32GB SSD
マルチメディア デコーダー	Broadcom 70010/70012 ソリューション
LAN	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T(RJ45)
無線ビデオ転送	UWBテクノロジー
無線規格	Wi-Fi 802.11b/g/n、Bluetooth V2.1
電源	36W ACアダプター
内蔵バッテリー駆動時間	約4時間*
オーディオ	内蔵型高品質ステレオスピーカー 高品質マイク
I/Oポート	<b>EeeKeyboard PC:</b> - HDMI ポート×1 - VGAポート×1 - アンテナ (Wi-Fi + UWB) - LANポート×1 - USB ポート×3 - DC INポート - オーディオジャック×2 (ヘッドホン&マイク)  <b>UWBレシーバー:</b> - HDMI ポート×1 - DC INポート×1

\* バッテリー駆動時間は、JEITAバッテリー動作時間測定法(Ver1.0)に基づいたものです。また、使用状況や設定などにより変動します。



注：製品改善のため仕様は予告なく変更することがあります。

## パッケージの内容\*

			
EeeKeyboard PC			
			
リカバリーDVD	HDMI ケーブル	クイック スタートガイド	ユーザー マニュアル
			
製品保証書	ACアダプター	電源コード	
			
UWBレーザー用 ACアダプター	UWBレーザー	無線アンテナ (Wi-Fi+UWB)	

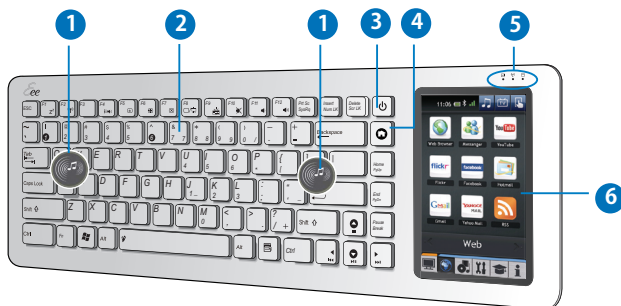
\* 付属品が足りない場合や破損している場合は、お手数ですが販売店様までご連絡ください。

# Chapter 1

お使いになる前に

各部の名称と説明

基本的な機能



## 1 内蔵スピーカー

本機には高品質内蔵スピーカーが搭載されています。

## 2 イルミネーションキーボード

キーボードにはLEDが搭載されており、暗い所でもタイピングが行えます。

## 3 電源キー

本機の電源をON/OFFにします。電源がONのときに押すと本機は休止状態になり、休止状態から復旧するには、このキーをもう一度押します。また、このキーを約5秒間長押しすると本機は強制終了します。

## 4 メインキー

このキーを押してメインページを開きます。Easy Mode のプログラムが応答しなくなったときにこのキーを押すと、プログラムが終了し、メインページに戻ります。

## 5 LEDインジケーター

バッテリー、無線接続、記憶装置の状態を表示します。



**バッテリーインジケーター**: バッテリーの状態を表示します。

- ・グリーン点灯: バッテリーは完全に充電されています。
- ・オレンジ点灯: バッテリーの充電中です。
- ・オレンジ点滅: 充電中で、バッテリーの残量が少ない状態です。
- ・ホワイト点滅: バッテリーの残量が少ない状態です。



**無線インジケーター**: 無線接続の状態を表示します。

- ・ホワイト点灯: 無線LAN機能が有効になっています。



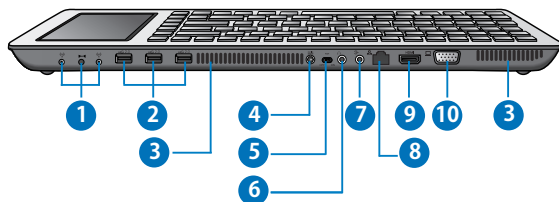
**記憶装置インジケーター**: 記憶装置の状態を表示します。

- ・ホワイト点灯: 記憶装置にアクセスしています。
- ・ホワイト点滅: 記憶装置とデータの読み取り/書き込みを行っています。

## 6 5インチタッチパネル

画面に触れる（タップする）ことで、本機の各機能の使用、操作が可能です。

## その他の便利な機能



1



**無線アンテナポート (Wi-Fi + UWB)**

付属の無線アンテナをこれらのポートに接続します。

2






**USB 2.0 ポート**

USBデバイス（PDA、スキャナー、プリンター、カメラ、記憶装置等）をこれらのポートに接続します。





3		<b>通気孔</b> 本機内部で暖まった空気を逃がします。
4		<b>DC INポート</b> ACアダプターをこのポートに接続します。ACアダプターは本機に電力を供給し内蔵バッテリーを充電します。本機とバッテリーの損傷を防ぐため、常に付属のACアダプターを使用するようにしてください。
5		<b>バッテリースイッチ</b> 内蔵バッテリーのON/OFFを切り替えます。
6		<b>ヘッドホンポート</b> ヘッドホンのコネクタをこのポートに接続します。このジャック使用時は、内蔵スピーカーは自動的に無効になります。
7		<b>マイクジャック</b> マイクのコネクタをこのジャックに接続します。
8		<b>LANポート</b> LANケーブル (RJ-45) をこのポートに接続し、ネットワークに接続します。
9		<b>HDMIポート</b> 付属のHDMI ケーブルをこのポートに接続し、HDマルチメディアデバイスに接続します。
10		<b>VGAポート</b> VGAケーブルをこのポートに接続し、モニターやプロジェクターなどの標準のVGA互換デバイスを本機に接続し、画面を表示することができます。



## UWB機能



注: レシーバーの底部には滑り止めが付いていますが、そちらで位置の固定が出来ない場合は、石けんを含ませた濡れた布でレシーバーの底部を掃除してください。

1

### LEDインジケータ

UWB接続の状態を表示します。



**UWBインジケータ**: UWB接続の状態を表示します。

- ・**ホワイト点灯**: UWBレシーバーが本機に接続されている状態です。

- ・**ホワイト点滅**: UWB接続が利用可能な状態です。



**電源インジケータ**: UWBレシーバーが電源コンセントに接続された状態かどうかを表示します。

- ・**レッド点灯**: UWBレシーバーが電源コンセントに接続されている状態です。

2

### HDMI HDMIポート

付属のHDMI ケーブルをこのポートに接続し、HDマルチメディアデバイスへ接続します。

3

**DC INポート**

ACアダプターをこのポートに接続し、UWBレシーバーに電源を供給します。

4

**ミニUSBポート**

UWBレシーバーと本機のペアリングは既に完了しており、このポートでペアリングを実行する必要はありません。付属のラバーカバーを取り外さずにそのままご使用ください。

## EeeKeyboard PCの準備

### バッテリーをON/OFFにする

お買い上げ時の状態では、輸送時の誤動作を防ぐため、内蔵バッテリーはOFFになっています。本機を使用する前にONにしてください。

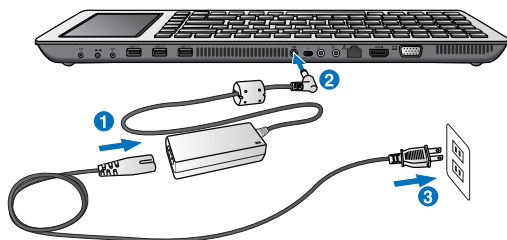


1. 本機背面のバッテリースイッチの位置を確認します。
2. ボールペン等の先端の尖った物で、バッテリースイッチのON/OFFを切り替えます。



**重要:**本機を梱包する際は、バッテリースイッチがOFFになっていることを確認してください。スイッチがONになっている場合は、輸送時の振動などで電源がONになる可能性があります。

## バッテリーを充電する



1. 電源コードをACアダプターに接続します。
2. ACアダプターを本機背面のDC INポートに接続します。
3. ACアダプターを電源コンセントに接続します。



### 重要：

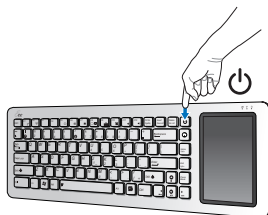
- 本機に付属されているACアダプターのみで使用ください。それ以外のACアダプターを使用された場合、故障の原因となります。
- バッテリーを充電する前に、バッテリースイッチをONにしてください。  
注：詳細はページ 1-5「バッテリーをON/OFFにする」をご参照ください。
- バッテリーインジケーターは充電中は橙色に点灯し、充電が完了すると緑色に変わります。

### バッテリーの寿命を延ばすには

- 本機を初めて使用される際、またはバッテリー残量がゼロになった場合は、約2.5時間充電してください。
- ACアダプターのラベルに記載されている定格入力電力を参考にし、定格に合った電源コンセントに接続してください。
- 本機を初めて充電する場合は、本機の電源をOFFにした状態で行ってください。

## EeeKeyboard PCをONにする

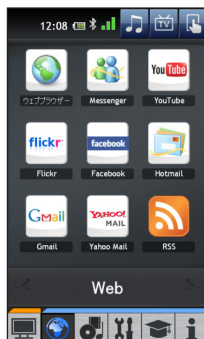
- 電源キー  を押して本機の電源をONにします。



## 初めて使用する際は

本機を初めて使用される際は、次の手順で基本設定を行ってください。

1. 本機の電源をONにします。
2. 画面上の指示に従って、セットアップを行います。
3. システムは再起動し、Easy Mode 画面が自動的に起動します。





**注：** Easy Mode 画面の詳細は、Chapter 2 をご参照ください。





# EeeKeyboard PCをOFFにする

## 休止状態にする

- 電源キー  を押し、本機を休止状態にします。休止状態から復帰するには、電源キー  をもう1度押します。  
休止状態ではシステムの電源はOFFになりますが、数秒で休止前の状態に復帰することができます。

## EeeKeyboard PCをシャットダウンする

- Easy Mode 画面から、アイコン  をタップし、「**Windows デスクトップ**」をタップし、タッチパネルにWindowsのデスクトップ画面を表示させます。
- 本機の  キーを押し、スタートメニューを表示させます。
- 「**終了オプション**」→「**電源を切る**」の順に選択し、本機をシャットダウンします。

## EeeKeyboard PCを強制終了する

- 電源キー  を5秒間押し続けると、本機は強制終了します。

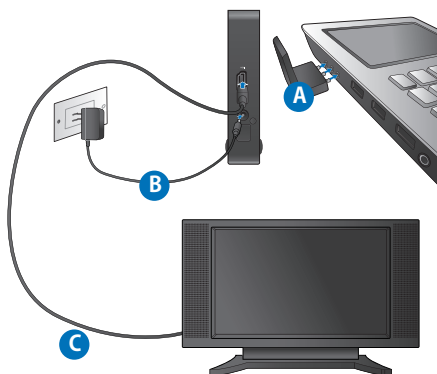
## UWB接続をセットアップする

UWBレーザーにより、本機を外部ディスプレイに無線接続できます。無線信号の受信範囲は、解像度720pでのビデオ転送であれば最大約5メートル、ビデオ転送を行わない接続であれば最大約10メートルです。




**注：**UWBレーザーと無線アンテナの間に障害となる物がないように設置してください。前面（Eee ロゴのある面）を無線アンテナの方向に向けてください。

1. UWB接続に必要なデバイスを全て接続します。



**注：**外部ディスプレイがフリーズする、または応答がない場合は、レーザーのACアダプターを取り外してから再度取り付け、UWB接続を再構築してください。



2. Easy Mode 画面からUWBアイコン  をタップすると、本機はUWBレシーバーに接続されます。接続に成功するとUWBレシーバーのLEDが白く点灯します。



**注:**

- UWBレシーバーと本機の接続に失敗した場合は次の項目をご確認ください。
  - UWBレシーバーに電源コンセントが接続されている。
  - 無線アンテナが無線アンテナポートに接続されている。



**重要:**修理等をご依頼する際は、本機とレシーバーの両方を同梱してください。



**注:**Windows環境の「画面のプロパティ」で3つのモニターが表示されています。モニター1は外部ディスプレイ、モニター2は5インチタッチパネル、モニター3はUWB接続時の外部ディスプレイとなります。





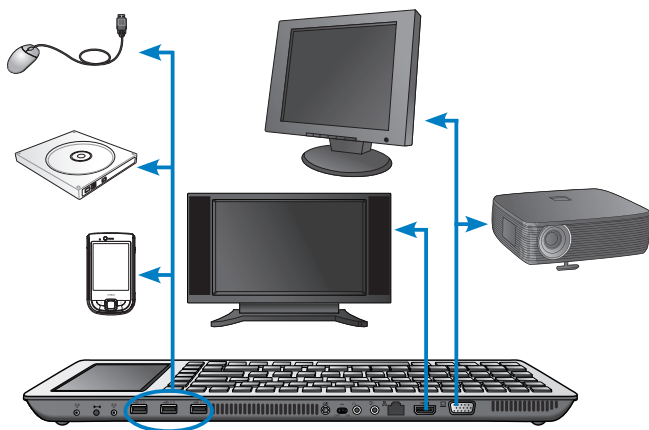
## デバイスを接続する

次のデバイスを本機に接続することができます。

- **USBデバイス:** カメラ、記憶装置、PDA、プリンター、スキャナー等。
- **HDマルチメディアデバイス:** DVDドライブ、デジタルオーディオデバイス、コンピューター用モニター、HDTV等。
- **VGA互換デバイス:** モニターやプロジェクター等。



注: Blu-ray ディスクはサポートしておりません。





注:各種デバイスを本機に無線接続することも可能です。詳細は本マニュアルの各関連項目をご参照ください。

- ページ1-9:UWB接続をセットアップする
- ページ1-12:外部ディスプレイを接続する
- Chapter 3:接続設定

## 外部ディスプレイを接続する

1. UWB接続のセットアップを行います。




注:詳細はページ1-9「**UWB接続をセットアップする**」をご参照ください。

2. 本機の電源と外部ディスプレイの電源をONにします。
3. 本機タッチパネルにEasy Mode 画面が表示されます。このEasy Mode 画面から、外部ディスプレイ上の各種アプリケーションの起動や操作が可能です。





注:

- Easy Mode 画面からTouchpad アイコン  をタップすると、本機から外部ディスプレイを指で操作できるようになります。
- Easy Mode 画面の詳細は ページ2-1 の「**Easy Mode 画面**」をご参照ください。

## 外部ディスプレイを2台接続する

1. 次のいずれかの手順で、本機に外部ディスプレイを2台接続できます。
  - 1台目のディスプレイを無線接続し、もう1台のディスプレイをVGAケーブルまたはHDMIケーブルで接続します。
  - 外部ディスプレイ2台をVGAケーブルおよびHDMIケーブルで接続します。
2. 本機の電源と外部ディスプレイの電源をONにします。



**重要:** 外部ディスプレイを2台接続する際は、有線/無線接続に限らず、ディスプレイ出力可能なのは1台だけです。出力切り替えは、本機の  +  (<Fn> +< F8>) キーで行います。

[illegible]

# Chapter 2

## EeeKeyboard PCを使用する

### Easy Mode 画面

指でタッチパネルをタップすることで、インターネットへのアクセス、写真の閲覧やスライドショー、プレイリストを使用した音楽の再生、動画再生、MSN Messenger の操作が可能です。



**重要:** ユーザーアカウントの制限により、制限ユーザーでは特定のプログラムが起動できない場合があります。

1



### TV & モニター

このアイコンをタップすると、よく使用するアプリケーションを外部ディスプレイで起動することができます。

このページのアイコンは外部ディスプレイを本機に接続しないと表示されません。



**注:**この画面に表示されるSkypeショートカットアイコンは、Skypeをシステムにインストールすると使用可能になります。

2



### Web

このアイコンをタップすると、メッセージャー、インターネット、各種メール等を使用することができます。



**注:**

- Easy Mode 内のWebブラウザでは、i-Filter で設定したWebサイトをブロックすることはできません。
- Easy Mode 画面のWebブラウザでは、インターネット、ファイルのダウンロードが可能で、ダウンロードしたファイルは**マイドキュメント**内の既定のフォルダに保存されます。
- ダウンロードしたアプリケーションを使用する際は、ダウンロード先フォルダを**マイドキュメント**内の既定のフォルダにしてください。既定のフォルダにすることで、Easy Mode アプリケーションで自動的に閲覧が可能になります。
- 新しいアプリケーションをインストールした際は、スタートメニューにショートカットを入れるように設定してください。スタートメニューへ入れてないアプリケーションはEasy ModeのWebセクションへショートカットを追加できません。

3



### 楽しみ


メディア/ビデオプレーヤー、各種ゲームを起動します。



**注:**本機をスタンドアローンデバイスとして使用している場合は、WindowsデスクトップアイコンをタップするとWindowsが起動します。




**注:**本メニューのビデオプレーヤーでは、DVDの再生はできません。DVDの再生はWindows 環境にてTMTをご使用ください。また、DVDの自動再生には対応していませんので、再生ボタンを押し、再生するようにしてください。

- 
- 4**  **ツールと設定**  
各種ツールを使用して詳細設定を行うことができます。
- 
- 5**  **学習**  
学習系アプリケーションを開きます。
- 
- 6**  **情報**  
ニュースや天気予報等を表示します。
- 
- 7** **タッチパネル**  
各Easy Mode のアプリケーションやツールを表示します。
- 
- 8** **インジケータ**  
 Bluetooth の状態を表示します。  
 無線接続の状態を表示します。このアイコンをタップすると、無線ネットワークに接続します。  
 バッテリーの状態を表示します。
- 
- 9**  **音楽**  
このアイコンをタップすると、メディアプレーヤーを表示します。このアイコンはEasy Mode 画面でメディアプレーヤーを使用して音楽を再生しているときだけ表示されます。
- 
- 10**  **Wi-Fi**  
このアイコンをタップすると、UWB接続が有効になります。
- 
- 11**  **タッチパッド**  
このアイコンをタップすると、本機から指で外部ディスプレイを操作できるようになります。このアイコンは本機に外部ディスプレイが接続されている場合のみ表示されます。
-

# タッチパネルを使用する

## タッチパッドモード画面

タッチパッドアイコン  は、タッチ操作で本機から外部ディスプレイ上のWindows環境の操作ができるようになります。



**重要:**タッチパッドアイコンは、本機に外部ディスプレイが接続されているときだけ表示されます。





- 1  ピクチャーコマンドセンターを開きます。
- 2  メディアプレーヤーコマンドセンターを開きます。
- 3  Total Media Theater (TMT) コマンドセンターを開きます。
- 4  各アプリケーションの切り替えを行います。
- 5  外部ディスプレイで使用中のプログラムを閉じます。
- 6  前の画面に戻ります。
- 7 この画面で指を移動させることで、本機から外部ディスプレイを操作します。
- 8  ドキュメントやWebページを上方向にスクロールします。
- 9  ドキュメントやWebページを下方向にスクロールします。



**重要:** 外部ディスプレイにWindows 環境を表示し、Windows へ Login する場合は、5 インチタッチパネルはタッチ操作が可能となりますが、タッチパネルのバックライトはOFFとなります。

## タッチ操作

タッチ操作とはタッチパネルに指で触れ、また、指を移動させることで、本機の5インチタッチパネルの操作を行います。

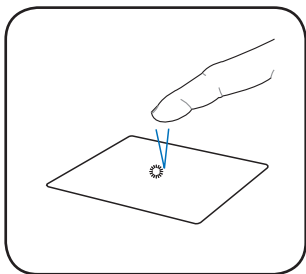


**注:**タッチ操作の際は、タッチパネルを指で優しく触れてください。操作性は圧力の強さには比例しません。



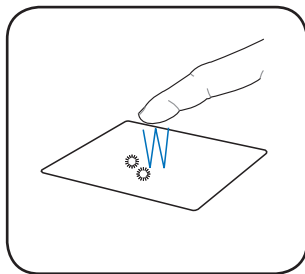
**重要:**タッチ操作は必ず指で行ってください。指以外で行うと、タッチパネルの故障、または表面の傷の原因となります。

## 基本操作



### タップ

タッチパッドを軽く打ち、項目を選択します。この操作はマウスの左クリックに相当します。



### ダブルタップ

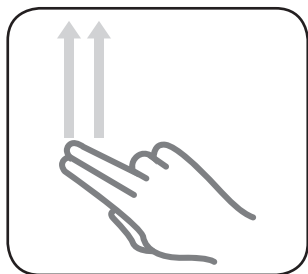
タッチパッドを軽く2度打ち、アプリケーションを起動します。この操作はマウスのダブルクリックに相当します。



**注:**タッチパッドを2秒以上タップすると、マウスの右クリックに相当します。

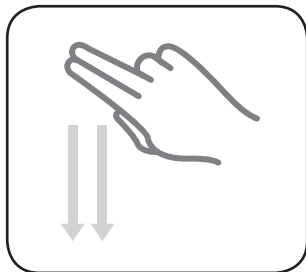


## 特殊な操作 (インターネット閲覧時のみ)



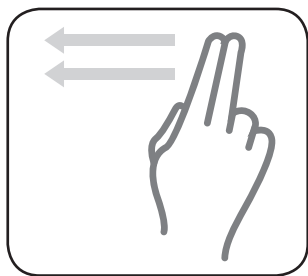
### ズームイン

人差し指と中指を揃えて上方向に移動します。



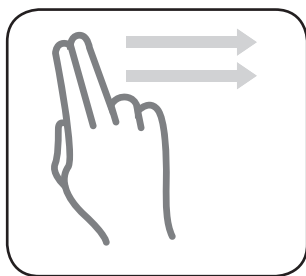
### ズームアウト

人差し指と中指を揃えて下方向に移動します。



### 前のページへ

人差し指と中指を揃えて左方向に移動します。



### 次のページへ

人差し指と中指を揃えて右方向に移動します。

# キーボードを使用する



注：キーボードのレイアウトは、お買い上げの国/地域により異なります。

## Function キー

Function キー  とその他のキーを組み合わせることで、特定の操作が可能になります。



**スタンバイ**：システムをスタンバイモードにします。



注：スタンバイモードから復旧する場合は、任意のキーを押します。



**無線/Bluetooth**：無線LANまたはBluetooth の有効/無効を切り替えます。有効時は対応する無線インジケーターが点灯します。



**オーディオスイッチ**：オーディオ出力を本機のスピーカー、HDMI オーディオ出力、UWBオーディオ出力との間で切り替えます。



注：

- HDMI オーディオ出力、UWBオーディオ出力に切り替える場合は、HDMI デバイスまたはUWBデバイスを接続する必要があります。
- <Fn> + <F4>** キーでオーディオ出力を切り替えた後は、切り替えを反映させるため、メディアプレーヤーを再起動する必要があります。



**明るさ (↓) :** 本機タッチパネルの輝度を下げます。



**明るさ (↑) :** 本機タッチパネルの輝度を上げます。



**LCD ON/OFF :** 本機タッチパネルのバックライトのON/OFFを切り替えます。



**LCD/モニタースイッチ :** 本機に接続した2台の外部ディスプレイを切り替えます (有線接続/無線接続を問わない)。



**LEDキーパッドON/OFF :** LEDキーパッドのON/OFFを切り替えます。



**ミュート :** スピーカーのON/OFFを切り替えます。



**音量 (↓) :** 音量を下げます。



**音量 (↑) :** 音量を上げます。



**ナンバーロック :** 数値キー (数字ロック) のON/OFFを切り替えます。



**スクロールロック :** スクロールロックのON/OFFを切り替えます。



**停止 :** 再生中のメディアファイル (ビデオ、オーディオファイル等) を停止します。



**再生/一時停止 :** 再生中のメディアファイルを一時停止します。一時停止中に押すと一時停止を解除します。



**戻る :** 再生中のメディアファイルで、1つ前のトラックに戻ります。





**次へ**：再生中のメディアファイルで、次のトラックに進みます。



**Page Up**：ドキュメントやブラウザーを上方向にスクロールします。



**Page Down**：ドキュメントやブラウザーを下方向にスクロールします。



**Super Hybrid Engine Key**：各節モードを切り替えます。選択したモードはディスプレイに表示されます。

## 特殊キー



Windows® XPの「スタート」メニューを表示します。



マウスの右クリックに相当し、押すとプロパティメニューが開きます。



メインページに戻ります。  
Easy Mode プログラムが応答しない場合にこのキーを押すと、そのプログラムを閉じ、メインページに戻ります。メインページに戻ります。



CPUの使用率が高く、システムが正常に動作していない場合、このキーを押すとすべてのプログラムが閉じることができます。



**注**： + キーを押してシステムプロパティを表示する際に、すべてのプログラムを閉じる旨のメッセージが表示されることがありますが、その際は「いいえ」を選択し、システムプロパティにアクセスしてください。



## BIOS更新

本機にはBIOS更新ツールASUS Update がプリインストールされており、Windows 環境で本機のBIOSの管理・保存・更新が可能です。




### ヒント:

- ASUS Update ご利用の際は、インターネットアクセスが必要です。
- ASUS Update は本製品に付属のリカバリーDVDにも収録されています。



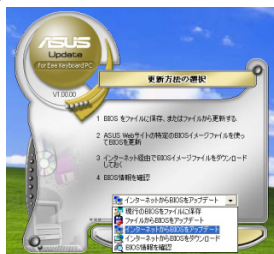
**警告:** BIOS更新に失敗すると、システムが起動しなくなる等のトラブルの原因となります。必要のない場合は、更新しないでください。

## BIOSを更新する

- Easy Mode 画面から、アイコン  をタップし、「**Windows デスクトップ**」をタップし、タッチパネルにWindows のデスクトップ画面を表示させます。
- 「**スタート**」→「**すべてのプログラム**」→「**ASUS EeeKeyboard PC Applications**」→「**ASUSUpdate for Eee Keyboard PC**」→「**ASUSUpdate**」の順に進み、ASUS Update を開きます。
- リストからいずれかの更新方法を選択します。

### インターネットからBIOSを更新する

- 「**インターネットからBIOSをアップデート**」を選択し、「**進む**」をタップします。







- b. 最寄りのASUS FTPサイトを選択するか、「自動選択」をタップし、「進む」をタップします。
- c. FTPサイトからダウンロードするBIOSバージョンを選択し、「進む」をタップします。

#### **BIOSファイルからBIOSを更新する**

- a. 「ファイルからBIOSを更新」を選択し「進む」をタップします。
  - b. OpenダイアログからBIOSファイルを探し、「開く」をタップします。
4. 画面の指示に従い、更新作業を実行します。

## システムリカバリー

付属のリカバリーDVDを使用して、OSのインストールと復旧作業を行うことができます。



**警告：**システムリカバリーを実行すると、ユーザーのデータは全て消去されます。システムリカバリーの前は、ネットワーク設定等のカスタマイズ設定も含め、必ずデータのバックアップを行ってください。

1. 外付け光学ドライブを本機のUSBポートに接続します。
2. リカバリーDVDを外付け光学ドライブにセットします。
3. 本機の電源をONにします。
4. EeeKeyboard PCのロゴが表示されている間に<Esc>を押します。
5. 外付け光学ドライブを起動デバイスとして選択します。





6. 確認画面が表示されたら、<y> を押してリカバリー作業を実行します。中止する場合は <n> を押します。
7. リカバリ作業が完了したら、本機を再起動します。



**注:**

- 付属のリカバリDVDは本製品専用です。他の製品には使用しないでください。
- 更新情報等は、ASUSのサイトで公開しております。  
<http://www.asus.co.jp>



# Chapter 3


## 接続設定

### インターネットに接続する

#### 有線接続

LANケーブル (RJ-45) を使用し、本機をADSLモデムまたはローカルエリアネットワーク (LAN) に接続します。



**重要:** インターネットの設定はWindows 環境で行います。Easy Mode 画面から、アイコン  をタップし、「**Windows デスクトップ**」をタップしてWindows 環境に入ります。

#### モデムに接続する

- LANケーブルでモデムのLANポートと本機背面のLANポートを接続します。



**注:** モデムの接続に関する詳細は、ご契約のプロバイダー様にご確認ください。


## ローカルエリアネットワーク(LAN)に接続する

- LANケーブルで本機背面のLANポートをLANに接続します。




**注:** Windows XPの初期設定ではLANケーブルを繋ぐだけで、特に何も設定を変更せずに、動的IPでネットワークに接続できる状態です。LANへの接続に、IDやパスワードなどの設定が必要なプロバイダー様とご契約の場合は、接続の手順をプロバイダー様へご確認ください。

## 無線ネットワークに接続する

- 無線アンテナを本機背面の無線アンテナポートに接続します。
- Easy Mode 画面からアイコン  をタップし、Wi-Fi 設定画面を開きます。



**ヒント:** ツールと設定アイコン  をタップし「Wi-Fi設定」を選択してもWi-Fi 設定画面が開きます。

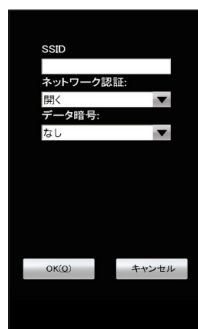
- 自動的に利用可能なネットワークの検索が始まります。
- リストから接続するネットワークを選択し、「接続」を選択します。リストを更新する場合は、「更新」をタップします。



**重要:** セキュリティ設定のされた無線ネットワークにアクセスする場合は、パスワードまたはネットワークキーの入力が必要な場合があります。



- ネットワークの無線設定を手動設定する場合は、「**手動設定**」をタップし、SSID（ネットワーク名）を入力し、ネットワーク認証と暗号化方式を選択します。



5. 以上で設定は終了です。設定に誤りがなければ、本機のEasy Mode画面でインターネットやメールの送受信、チャット等がご利用いただけます。



**注：**詳細はページ 2-1 の「**Easy Mode 画面**」をご参照ください。

## ASUS Eee Net

ASUS Eee Net はホームネットワークの作成とファイル共有をサポートするツールです。



### 重要:

- ASUS Eee Net で使用の前に、次の項目をご確認ください。
  - インターネットに接続されている(有線/無線を問わない)
  - 外部ディスプレイに接続されている

## ASUS Eee Netを起動する

- Easy Mode 画面のショートカット画面から「Eee Net」をタップしASUS Eee Net を起動します。



**注:**ASUS Eee Net の各機能については、Eee Net 画面の「チュートリアル」タブをご参照ください。



### 重要:

- ASUS Eee Net の各機能を使用するには、グループを作成する必要があります。
- 無線ネットワーク経由でコンテンツを共有する際は、グループ内のすべてのコンピューターで同じネットワーク認証と暗号化方式を使用する必要があります。



**注:**「efamily」と「eguest」アカウントが自動で作成されていますが、こちらはASUS Eee Netの動作に必要なアカウントとなります。誤って削除した際も、ASUS Eee Netを起動した際に自動で再作成されます。



## グループの作成



### 重要:

- Eee Net インストールファイルを記憶装置にコピーし、グループ内のすべてのコンピューターにインストールしてください。
- Eee Net インストールファイルは、Eee Net 画面の「オプション」タブ→「**Eee Netインストールファイル**」→「**Eee Netをインストールする。**」からコピーしてください。
- Eee Net はWindows XP 32bit / Vista 32bit / 7 32bitで動作します。

1. ASUS Eee Net を起動します。
2. Eee Net 画面から、「グループ」→「グループの作成」の順にタップします。
3. 重複しないグループ名を作成し、グループのパスワードを設定します。
4. 設定したら「作成」をタップします。

## グループに参加する

1. ASUS Eee Net を起動します。
2. Eee Net 画面から「グループ」→「グループに参加」の順にタップします。
3. 「グループを選択」リストから参加したいグループを選択します。
4. ユーザー名を入力します。
5. 「参加する」を選択します。



**重要:**グループに参加させるコンピューターはすべて同じアクセスポイントまたはルーターに接続する必要があります。

## Bluetooth®

本機はBluetooth® 接続をサポートしており、他のBluetooth デバイス（コンピューターやモバイル機器）との無線接続が可能です。無線接続の範囲は約10メートルです。

### Bluetooth 環境の基本設定

本機には内蔵Bluetooth トランシーバーが搭載されています。本機でBluetooth 機能を使用するには、次の基本設定を行ってください。

1. 外部ディスプレイを本機に接続します。

2. Easy Mode 画面にBluetooth インジケーター  が表示されない場合は、「**WLAN OFF & Bluetooth ON**」または「**WLAN & Bluetooth ON**」と表示されるまで、本機の  +  (<Fn> + <F2>) を押します。








3. 外部ディスプレイに表示されているデスクトップ上の「**マイBluetooth**」をダブルクリックします。



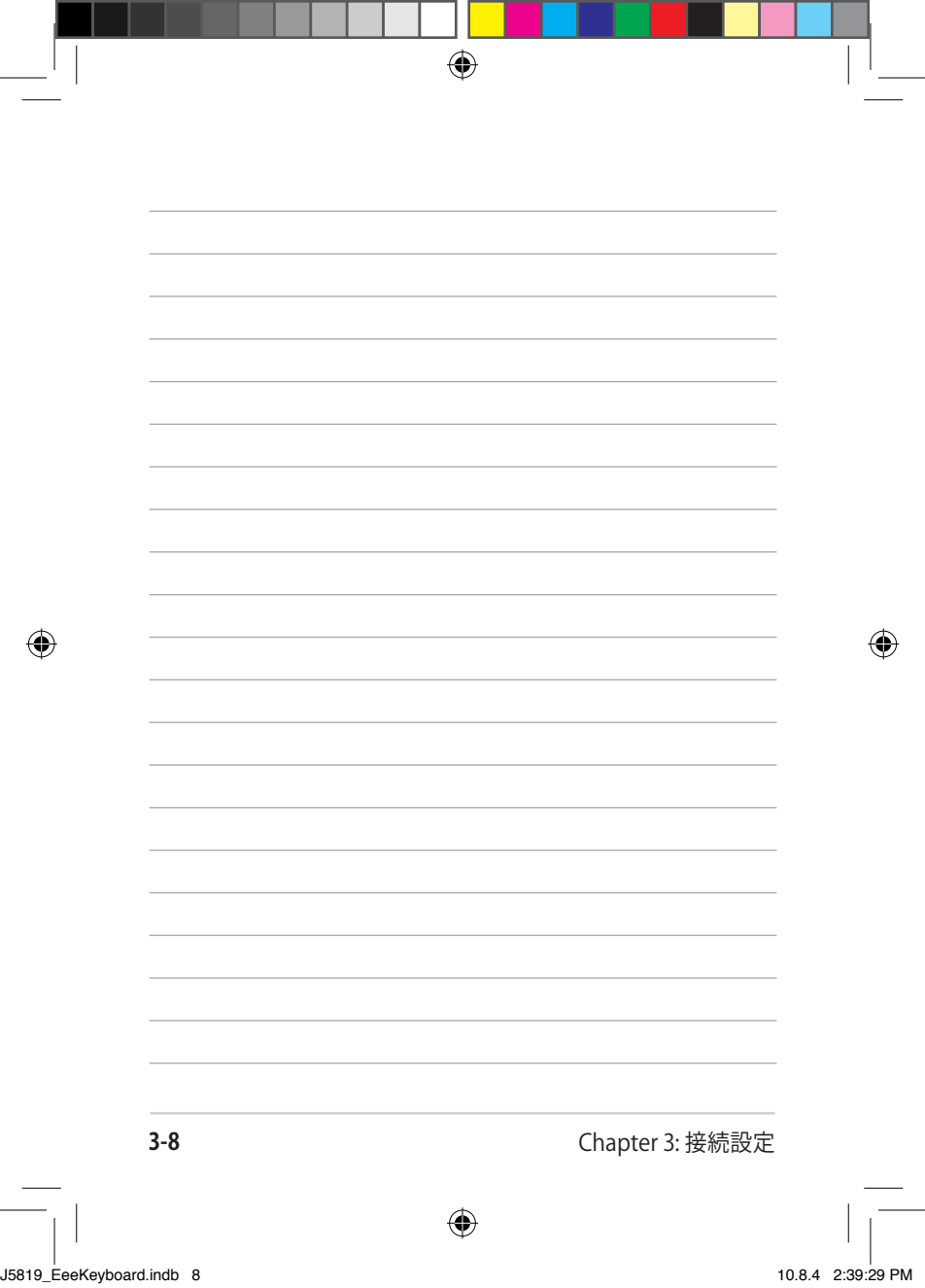
4. 画面の指示に従って、セットアップを行います。

## Bluetooth デバイスを追加する

Bluetooth プリンターやマウス等を本機で使用できます。

1. Windows® タスクトレイのBluetooth アイコン  を右クリックします。次に「**Bluetoothデバイスの追加**」を選択すると、Bluetooth セットアップウィザードが表示されます。
2. 「**次へ**」を選択し、他のBluetooth デバイスを検索します。
3. 利用可能なBluetooth デバイスのリストから、使用するデバイスを選択し、「**次へ**」を選択します。
4. 画面の指示に従い、接続の確認を実施し設定完了です。





# 付録

## ご注意

### REACH (原文)

Complying with the REACH (Registration, Evaluation, Authorisation, and Restriction of Chemicals) regulatory framework, we published the chemical substances in our products at ASUS REACH Website at <http://csr.asus.com/english/REACH.htm>.

### Federal Communications Commission Statement (原文)

This device complies with FCC Rules Part 15. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference.
- This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.

- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.



**WARNING!** The use of a shielded-type power cord is required in order to meet FCC emission limits and to prevent interference to the nearby radio and television reception. It is essential that only the supplied power cord be used. Use only shielded cables to connect I/O devices to this equipment. You are cautioned that changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void your authority to operate the equipment.

(Reprinted from the Code of Federal Regulations #47, part 15.193, 1993. Washington DC: Office of the Federal Register, National Archives and Records Administration, U.S. Government Printing Office.)

## FCC Radio Frequency (RF) Exposure Caution Statement (原文)

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. To maintain compliance with FCC RF exposure compliance requirements, please avoid direct contact to the transmitting antenna during transmitting. End users must follow the specific operating instructions for satisfying RF exposure compliance.



**WARNING!** Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment. "The manufacture declares that this device is limited to Channels 1 through 11 in the 2.4GHz frequency by specified firmware controlled in the USA."



## RF Exposure warning (原文)

- The equipment complies with FCC RF exposure limits set forth for an uncontrolled environment.
- The equipment must not be co-located or operated in conjunction with any other antenna or transmitter.

## Declaration of Conformity (R&TTE directive 1999/5/EC) (原文)

The following items were completed and are considered relevant and sufficient:

- Essential requirements as in [Article 3]
- Protection requirements for health and safety as in [Article 3.1a]
- Testing for electric safety according to [EN 60950]
- Protection requirements for electromagnetic compatibility in [Article 3.1b]
- Testing for electromagnetic compatibility in [EN 301 489-1] [EN 301 489-17] [EN 301 489-33] & [EN 301]
- Effective use of the radio spectrum as in [Article 3.2]
- Radio test suites according to [EN 300 328-2] & [EN 302 065]

## CE Mark Warning (原文)

This is a Class B product, in a domestic environment, this product may cause radio interference, in which case the user may be required to take adequate measures.



## Wireless Operation Channel for Different Domains (原文)

N. America	2.412-2.462 GHz, 3.1~10.6 GHz
Japan	2.412-2.484GHz, 4.2~4.8 GHz, 7.25~10.25 GHz
Europe ETSI	2.412-2.472 GHz, 4.2~4.8 GHz, 6~8.5 GHz

## France Restricted Wireless Frequency Bands (原文)

Some areas of France have a restricted frequency band. The worst case maximum authorized power indoors are:

- 10mW for the entire 2.4 GHz band (2400 MHz–2483.5 MHz)
- 100mW for frequencies between 2446.5 MHz and 2483.5 MHz



**NOTE:** Channels 10 through 13 inclusive operate in the band 2446.6 MHz to 2483.5 MHz.

There are few possibilities for outdoor use: On private property or on the private property of public persons, use is subject to a preliminary authorization procedure by the Ministry of Defense, with maximum authorized power of 100mW in the 2446.5–2483.5 MHz band. Use outdoors on public property is not permitted.

In the departments listed below, for the entire 2.4 GHz band:

- Maximum authorized power indoors is 100mW
  - Maximum authorized power outdoors is 10mW
- Departments in which the use of the 2400–2483.5 MHz band is permitted with an EIRP of less than 100mW indoors and less than 10mW outdoors:



01 Ain	02 Aisne	03 Allier	05 Hautes Alpes
08 Ardennes	09 Ariège	11 Aude	12 Aveyron
16 Charente	24 Dordogne	25 Doubs	26 Drôme
32 Gers	36 Indre	37 Indre et Loire	41 Loir et Cher
45 Loiret	50 Manche	55 Meuse	58 Nièvre
59 Nord	60 Oise	61 Orne	63 Puy du Dôme
64 Pyrénées Atlantique	66 Pyrénées Orientales	67 Bas Rhin	68 Haut Rhin
70 Haute Saône	71 Saône et Loire	75 Paris	82 Tarn et Garonne
84 Vaucluse	88 Vosges	89 Yonne	90 Territoire de Belfort
94 Val de Marne			

This requirement is likely to change over time, allowing you to use your wireless LAN card in more areas within France. Please check with ART for the latest information ([www.art-telecom.fr](http://www.art-telecom.fr))



**NOTE:** Your WLAN Card transmits less than 100mW, but more than 10mW.

## IC Radiation Exposure Statement for Canada (原文)

This equipment complies with IC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. To maintain compliance with IC RF exposure compliance requirements, please avoid direct contact to the transmitting antenna during transmitting. End users must follow the specific operating instructions for satisfying RF exposure compliance.

Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause interference.
- This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.



This device should be used only as specified within this manual to meet RF exposure requirements. Using this device in a manner inconsistent with this manual could lead to excessive RF exposure conditions.

This device and its antenna(s) must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

Country Code selection feature to be disabled for products marketed to the US/CANADA.

This Class [B] digital apparatus complies with Canadian ICES-003.  
Cet appareil numérique de la classe [B] est conforme à la norme NMB-003 du Canada







## ASUSコンタクトインフォメーション

### ASUSTeK COMPUTER INC. (アジア太平洋)

住所 15 Li-Te Road, Peitou, Taipei, Taiwan 11259  
電話 +886-2-2894-3447  
ファクス +886-2-2890-7798  
Webサイト [www.asus.com.tw](http://www.asus.com.tw)

#### テクニカルサポート

電話 +86-21-3842-9911  
オンラインサポート [support.asus.com](http://support.asus.com)

### ASUS COMPUTER INTERNATIONAL (アメリカ)

住所 800 Corporate Way, Fremont, CA 94539, USA  
電話 +1-510-739-3777  
ファクス +1-510-608-4555  
Webサイト [usa.asus.com](http://usa.asus.com)

#### テクニカルサポート

電話 +1-888-678-3688  
オンラインサポート [support.asus.com](http://support.asus.com)

### ASUS COMPUTER GmbH (ドイツ/オーストリア)

住所 Harkort Str. 21-23, D-40880 Ratingen,  
Germany  
ファクス +49-2102-9599-11  
オンラインコンタクト [www.asus.com.de/sales](http://www.asus.com.de/sales)

#### テクニカルサポート

コンポーネント電話 +49-1805-010923  
システム/ノートパソコン/  
Eee/LCD電話 +49-1805-010920  
サポートファクス +49-2102-959911  
オンラインサポート [www.asus.com.de/support](http://www.asus.com.de/support)  
Webサイト [www.asus.com.de/news](http://www.asus.com.de/news)

ASUS EeeKeyboard PC

A-7

## 責任制限

この責任制限はASUSの、或は他の責任の不履行により、ユーザーがASUSから損害賠償を受ける権利が生じた場合に発生します。

このようなケースが発生した場合は、ユーザーのASUSに損害賠償を請求する権利の有無にかかわらず、ASUSは肉体的損害（死亡したケースを含む）と不動産及び有形動産への損害のみに賠償責任を負います。或は、それぞれの製品の記載された協定価格を限度とし、「Warranty Statement」のもとに生じる法的義務の不作为または不履行に起因するいかなる実害と直接的な被害のみに対して賠償責任を負います。

ASUSは「Warranty Statement」に基づき、不法行為または侵害行為が発生した場合と、契約に基づく損失や損害が生じた場合及びその主張に対してのみ賠償し、責任を負います。

この責任制限は、ASUSの供給者または販売代理店にも適用されます。賠償の際は、ASUSとその供給者及び購入した販売代理店を一集合体としてその限度額を定めており、その限度額に応じた賠償が行われます。

以下のケースに対しては、ASUSとその供給者及び販売代理店がその可能性を指摘されている場合においても、ASUSはいかなる賠償及び保証を行いません。

- (1) ユーザーが第三者から請求されている申し立て
- (2) ユーザーの個人情報やデータの損失
- (3) 特殊、偶発的、或は間接的な損害、または貯蓄や諸利益を含むあらゆる結果的な経済的損害

<b>Manufacturer:</b>	<b>ASUSTeK Computer Inc.</b>  Tel: +886-2-2894-3447  Address: No. 150, LI-TE RD., PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN
<b>Authorised representative in Europe:</b>	<b>ASUS Computer GmbH</b>  Address: HARKORT STR. 21-23, 40880 RATINGEN, GERMANY